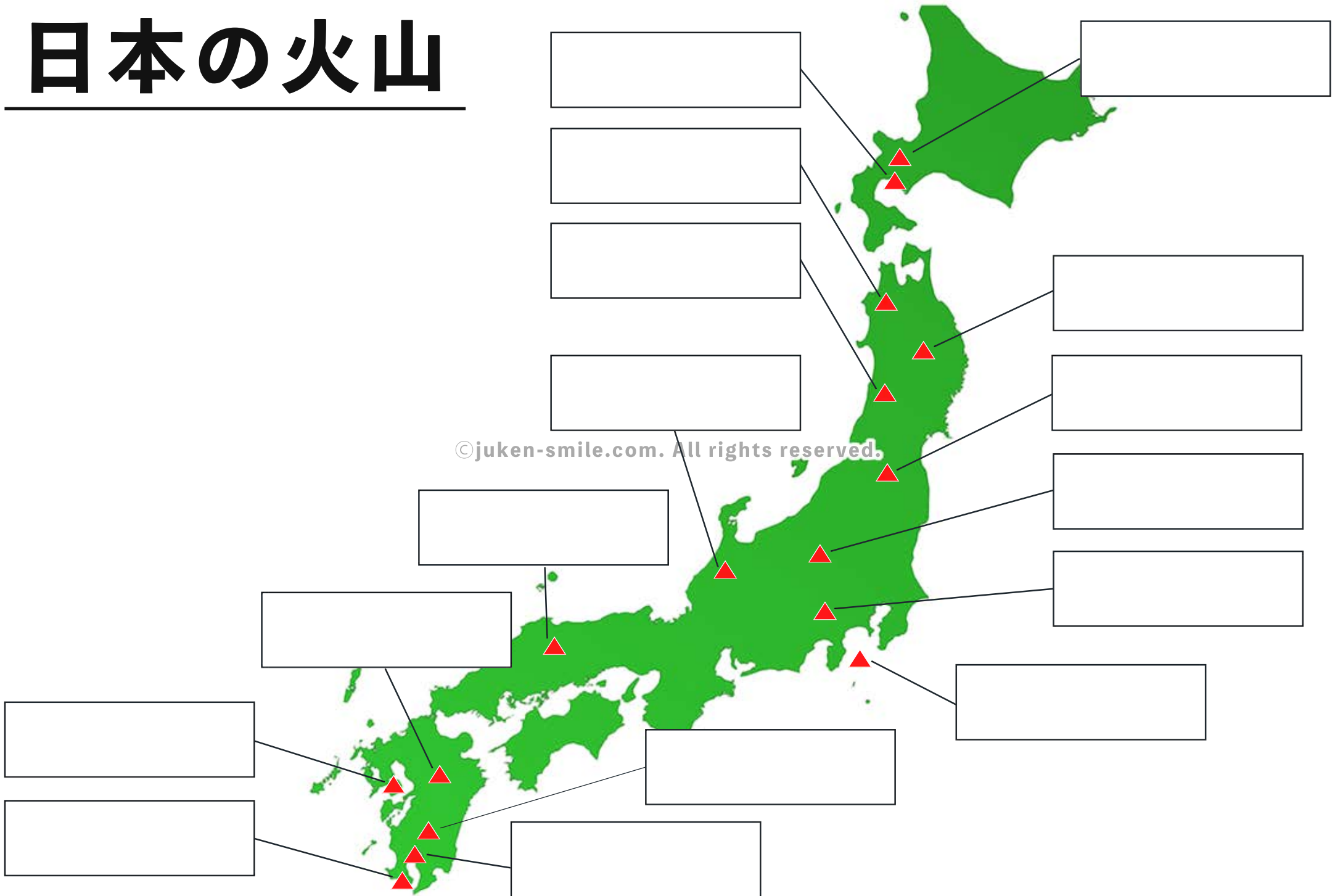
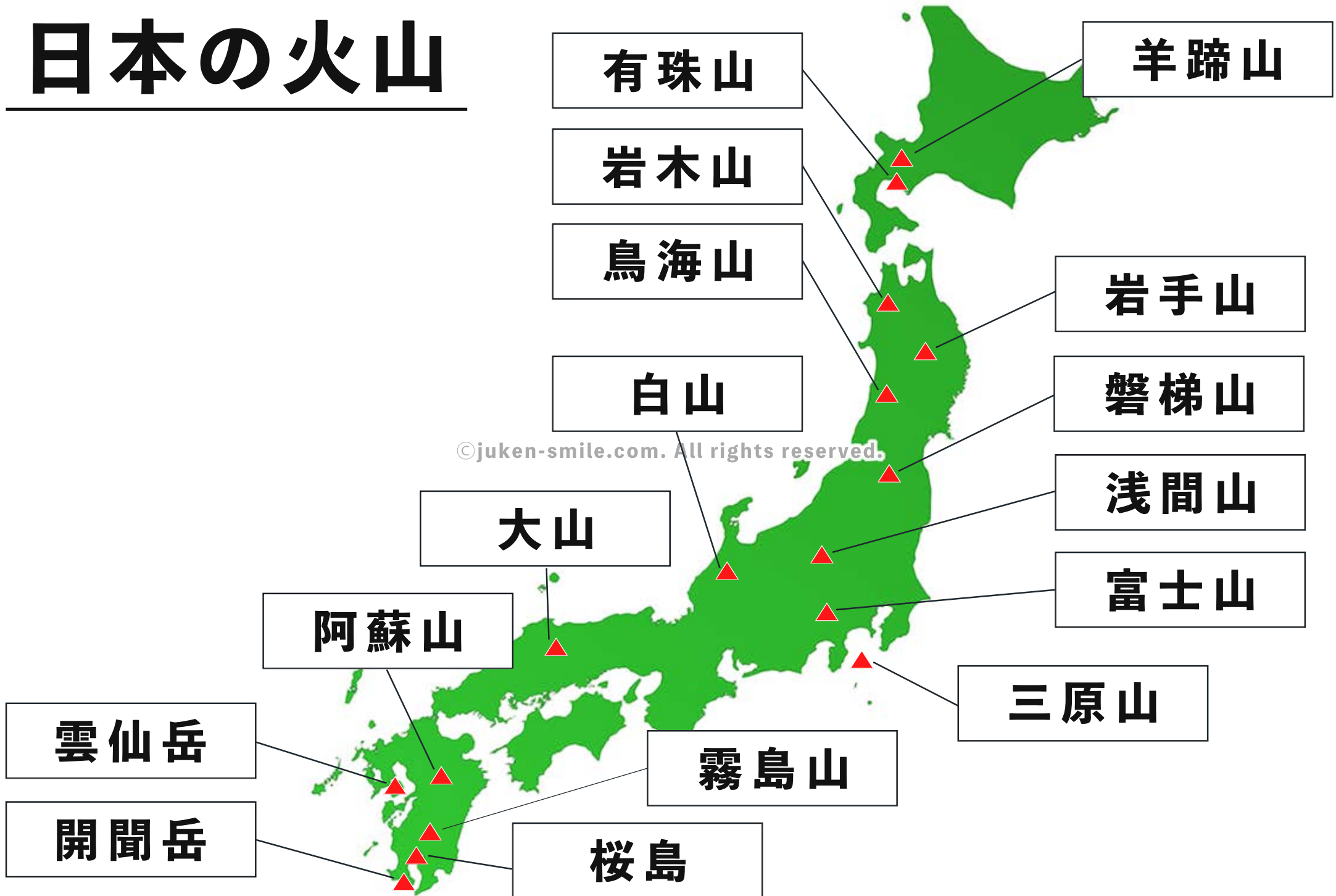


日本の火山



日本の火山



日本の火山について

1. 火山の分布とプレートの関係

日本の火山は、「プレートの境界」に多く見られます。

これは、日本列島が 4 つのプレート（ユーラシア・北アメリカ・フィリピン海・太平洋）のぶつかる場所にあるためです。

プレートの動きによって、地下のマグマが上昇し、火山活動が活発になります。

- 海に近い火山（島や沿岸） → 海のプレートが沈み込むことでマグマが生まれる
 - 例：桜島（鹿児島）、三宅島（伊豆諸島）、阿蘇山（熊本）
- 内陸の火山 → 大陸プレート内の断層や、過去の火山活動でできた地形の影響
 - 例：富士山（静岡・山梨）、浅間山（長野・群馬）、磐梯山（福島）

2. 火山の種類と地質の関係

火山の種類は、噴火の仕方や溶岩の性質（地質）によって異なります。

火山の種類	特徴	代表的な火山
成層火山	円すい形、噴火の種類が多い	富士山・浅間山・桜島

火山の種類	特徴	代表的な火山
楯状火山	ゆるやかな形、サラサラした溶岩	三原山（伊豆大島）
カルデラ火山	大爆発で陥没、広い火口	阿蘇山・屈斜路湖（北海道）

特に、日本には **成層火山** が多く、火山灰や溶岩流をともしう噴火が起こりやすいのが特徴です。

3. 火山と温泉・地熱発電

火山の影響で **温泉や地熱発電** も多く見られます。

例えば、草津（浅間山）・別府（九州）・登別（北海道）などの温泉地は、火山の地熱を活用したものです。

試験では **火山の恵み** についても問われることがあるので、「火山＝危険」だけでなく、「生活に役立っている」ことも覚えておきましょう。

まとめ

- ✦ 日本の火山は、プレートの境界に多く、海の近さや地質によって特徴が違う！
- ✦ 成層火山が多く、噴火の仕方やマグマの種類によって火山の形が変わる！
- ✦ 火山は温泉や地熱発電にも関係していて、人々の生活にも役立っている！

このようなポイントを意識して学べと、試験でも理解しやすくなります！ 🔥